

山崎ひろし

声を力に!!
行動力!!

県政活動報告

2020

2021

2022

発行:山崎ひろし事務所 〒510-8037 三重県四日市市垂坂町883-1 TEL 059-333-3206 FAX 059-333-3206

現在の役職

●防災県土整備企業常任委員会 委員長 ●差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 副委員長

2020年から四日市市民の皆様方の温かいご支援をいただきまして、三重県議会議員として活躍できる場を与えていただいております。

皆様の声を伺いながら、それを政治の場にお届けして、実現することこれが私の政治の理念でございます。

今後も機会あるごとに、四日市市民の皆様、県民の皆様の代表として、県政の場に皆様の声を届けるべく精進してまいります。

今後とも皆様の一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2022

三重県議会にて一般質問いたしました

四日市萬古焼について

Q [質問]

三重県の誇る伝統工芸品である四日市萬古焼の原料価格高騰に対する支援について、三重県のお考えを教えてください。

A [答弁]

四日市萬古焼の主原料であるペタライト鉱石は主にジンバブエから輸入していますが、近年、新型コロナウイルス感染症の拡大により、採掘遅延や港までの運送停止などの影響が出ています。県では、工業研究所において、陶磁器業界と連携を図り、代替原料の研究やペタライト鉱石の使用量削減に関する研究に取り組んでいるほか、県のセーフティネット資金など資金繰り支援も含めた総合的な支援を行ってまいります。

Q [質問]

県産品を世界に向けて輸出する販売支援やその成果について教えてください。

A [答弁]

県産品の輸出拡大に向け、ロンドンで「三重県フェア」を開催したほか、海外バイヤーとのオンライン商談会を実施しました。また、地域商社と連携し、複数事業者の商品を一括して商談を行うことで、ASEAN、EU等に対し、加工食品や日本酒など多品目の成約を得ました。さらに、貿易アドバイザーによる実務支援に取り組むとともに、伝統工芸品と食材を組み合わせる等、商品訴求力の強化にチャレンジしてまいります。

三重県内私立高等学校への就学支援金について

Q [質問]

令和2年度、私立高校に対して就学支援金の上限額が大幅に引き上げられました。これによる経済的負担の軽減が私立高校への入学者数の増加の一因だと考えますが、県立高校と私立高校の授業料負担の格差や今後の就学支

援金についてのお考えを教えてください。

A [答弁]

就学支援金制度の改正前と比べると、私立高等学校への入学者が増加しました。こうした引き上げによる効果を今後も注視し、希望する私立高等学校へ進学できる機会を保障していくという観点から、国に対して、就学支援金制度の拡充を要望するなど、就学支援金制度の充実に取り組んでいきます。

学校部活動について

Q [質問]

コロナ禍での部活動の実施状況と部活動の継続に向けたお考えを教えてください。

A [答弁]

令和3年度の県立学校の部活動は、感染状況に応じて制限がある中であっても、活動内容を工夫するなど一生懸命練習に取り組んできました。県教育委員会としても、コロナ禍で頑張っている生徒が成果を発揮できる大会を開催できるよう関係団体と連携して対応してきました。今後、必要な対策を行い、可能な限り子どもたちの活動の機会を確保していきたいと考えています。

Q [質問]

現在までの部活動指導員の配置によって、どのような効果が確認されたのかを教員側・生徒側のそれぞれの側面から教えてください。

A [答弁]

学校からは「専門的な知識や指導力を有する指導員に任せることで、部員の士気や技能が向上し大変助かっている。」、生徒からは「レベルに応じた指導方法で教わることができ、とても分かりやすく技能が向上した。」といった効果を聞いています。専門的な指導により有意義な活動につながり、顧問の業務負担の軽減となることから、今後も配置を拡充できるよう取り組んでいきます。

Q [質問]

今後の特に中学生における部活動改革の方向性がどのようになっていくのかをお聞かせください。

A [答弁]

部活動の改革は、すべての市町で進めていく必要があります。部活動ガイドラインに基づき、日常の部活動での生徒への効果的な指導と教員の負担軽減を図るほか、「休日の部活動の段階的な地域移行」が令和5年度から円滑に進むようモデル校での取組を継続します。生徒にとって望ましい部活動が持続されていくよう、市町教育委員会と連携し、あり方検討委員会での議論を進めていきます。

県内スポーツ施設について

Q [質問]

今後の県内スポーツ振興と発展のための財源確保を目的としたドリームオーシャンスタジアムの広告募集について、現在の募集状況と進捗を教えてください。

A [答弁]

広告掲出については、昨年11月5日から本年2月15日まで公募を行い、10の枠に対して、5社7枠のご応募をいただきました。今後、広告主となる各企業様において、広告を制作・設置いただき、4月1日から掲出されることとなります。なお、応募のなかった3枠については、3月7日から再募集を行うこととしており、引き続き、広告枠



の募集に取り組むことで、すべての広告枠にご応募いただけるよう努めてまいります。

Q [質問]

今後はドリームオーシャンスタジアムを含め各球場へのWi-Fi設備を整備すべきであると考えますが、お考えをお聞かせください。

A [答弁]

Wi-Fi設備の導入は当該施設の利便性や付加価値を高めるうえで有益なツールであると考えています。一方、その整備主体や整備手法をどうするか、提供すべき情報サービスの内容や通信エリアの設定範囲、維持管理も含めた費用負担のあり方、効果の見極めなど、検討すべきいくつかの課題があります。また、県内外の他の施設管理者の考え方や事例などについても情報収集を行い、導入の可否について、今後よく検討していきたいと考えています。

質問の進展

県営松阪野球場の施設整備を、予算に含めていただきました。

スコアボードなど、設備の老朽化について質問させていただきました。その後、令和2年度当初予算にて改修工事の予算が計上され、スコアボードの改修とスピードガンの設置、フェンスラバーの取替えが実現しました。今後とも皆様の声をカタチにしていけるように活動していく所存でございます。何卒、引き続きのご支援よろしくお願い申し上げます。



令和2年度当初予算より抜粋

県営松阪野球場事業	188,178千円
(1) 県営松阪野球場管理運営費	21,304千円
(2) 県営松阪野球場施設整備費	167,144千円
・スコアボード改修工事（工事請負費）	138,969千円
・場内ラバーフェンス取替工事（工事請負費）	27,753千円
・工事事務費	422千円

県営松阪野球場の広告主を募集する方向になる。

令和元年、一般質問にて松阪野球場の老朽化について質問させていただいてから、今年ついにドリームオーシャンスタジアム（松阪野球場）の整備等に係る新たな財源の確保を目的として「三重県営スポーツ施設広告掲出 広告主募集」が実現しました。今後も県内スポーツの振興と発展のために、その財源が活用され、計画的に施設整備が実施されていくことを注視していきます。



北勢中央公園内野球場 いよいよ整備が開始します。

令和2年、一般質問にて北勢中央公園内野球場の老朽化について質問させていただきましたが、いよいよ整備が開始されます。進展については今後随時発信していきますので、どうかよろしくお願いいたします。



新型コロナウイルス感染症が及ぼす 県内経済への影響について

Q〔質問〕

新型コロナウイルス感染症に対する国の緊急事態宣言や、三重県独自の緊急警戒宣言により、人やモノの動きはさらに停滞し、不要不急の外出自粛により商店街への人流は途絶え、ほぼ全ての業種に売上の落ち込みが見られます。この経験のない地域産業の厳しい状況下において、今後さらなる支援策についてご検討いただきたい。

A〔答弁〕

まずは経済の再生に向け、中小企業・小規模企業の事業継続に向けた支援が必要であり、資金繰り支援や、経営課題解決、生産性向上、業態転換をめざす取組等を支援してまいります。さらに、極めて厳しい状況が長期化している飲食店やその取引事業者などが事業を継続できるよう支援金制度を創設します。また、新たな事業展開や価値創出に向けて、企業のDXの取組を促進するなど、中小企業・小規模企業の皆さまが、困難を乗り越え、安心して事業を継続できるよう、事業者寄り添った支援を実施してまいります。

県内の道路整備の状況について

Q〔質問〕

県管理道路の安全対策について 未就学児の交通安全対策として今年度の実施状況と今後の交通安全対策としてどのようにお考えでしょうか。

A〔答弁〕

緊急点検で安全対策が必要とされた県管理道路239箇所について、歩道等への車両の進入を防止する車止めや防護柵の設置、歩行空間を明確にするカラー舗装等の整備を進めており、令和元年度には、115箇所が完了し、残る124箇所についても、全て今年度内(令和2年度)に完了する予定です。なお、未就学児対策が完了した後も、児童・生徒が利用する通学路の安全対策については、引き続き取り組んでまいります。

Q〔質問〕

県管理道路について 現在も計画を進めていただいている劣化が進んだ道路の区画線の引き直しについて今年度の達成の見込みはどうか。また、自動運転を見据えた県の道路政策としてこの問題をどのように取り組んでいくのか、お考えをお聞かせください。

A〔答弁〕

平成29年度調査で判明した剥離度Ⅳの区画線約1,400kmについては、平成30年度から重点的に引き直しを行っており、今年度末(令和2年度)に完了する予定です。来年度(令和3年度)は剥離度Ⅲの引き直しを

完了させ、令和4年度以降、剥離度Ⅱ以下の水準で定常化してまいります。また、レベル2以下の運転支援技術について、白線の検知を前提としたシステムの普及拡大が見込まれるため、白線の管理水準を一定のレベルで維持していく必要があると考えています。



Q〔質問〕

県の交通安全対策にかかる区画線工事の入札制度について 県発注の入札制度について、公平性は保たれているのか。

A〔答弁〕

入札参加資格のうち「地域要件」については、発注機関において、適正な競争性を確保することに留意し、対象業者の本店、支店または営業所の所在地の範囲を設定できることとしています。工事発注にあたっては、地域の建設業者の受注機会の確保に配慮するとともに、競争性の確保の観点から入札参加者数などを勘案の上、適切な地域要件を設定しているところです。

Q〔質問〕

県道各所に設置してある大型道路標識板について 電柱広告看板のように、大型道路標識板にも広告を取付け、その使用料を徴収するなど、県の施設や設備の収益化について検討してはいかがでしょうか。

A〔答弁〕

大型道路案内標識については、県管理道路に2,538箇所ありますが、電柱や歩道橋とは違って、目的地や距離などの情報を利用者に見ていただくことが目的であり、これとは別の広告情報を付加することは、本来の目的に支障を与える恐れがあり、慎重に考える必要があります。一方で、歩道の植栽活動に企業から資金提供いただき、花壇に企業名を掲示してもらう取組など、公共空間における民間での活用の取組を強化していきたいと考えています。

スポーツ施設について

Q〔質問〕

北勢中央公園野球場の整備について 現在は竣工後28年が経過して、グラウンド内の雨水排水の側溝やバックネットの金網支柱の一部鋼材の露出など改修を行う必要があると思うが、今後の方向性をお聞かせください。

A〔答弁〕

北勢中央公園内にある野球場は、供用開始後、既に28年が経過し、老朽化が進行しています。このような中、利用者の視点から、安全面における不具合、これらへの対策の必要性を確認しました。「側溝や集水枡の蓋への滑り止めの施工」「バックネットの支柱や梁の鋼材部のクッションカバーの取り換え」「本部席とダッグアウト間の網目フェンスへの目隠しネットの設置」「スコアボードの再塗装」といったものについて、早急に対策を講じていきたいと考えています。

Q〔質問〕

北勢中央公園野球場について 今後の施設の維持や改修に必要な財源の確保のために、施設のネーミングライツ・パートナーの募集などの広告収入確保のための施策を期待したいが、お考えをお聞かせいただきたい。

A〔答弁〕

今後、北勢中央公園も含め県営都市公園において、ネーミングライツを取得したいという企業が現れるよう、地元企業等に対し、積極的なネーミングライツへの応募を呼び掛けるなど、PRに努めてまいります。その際、北勢中央公園全体ではネーミングライツ取得の意向がなく、野球場など施設ごとの取得の意向を示す企業がある場合には、施設ごとのネーミングライツの募集も検討します。

中小企業・小規模企業の BCP策定支援の取組について

Q〔質問〕

県内の中小企業・小規模企業にとって、景気回復の実感は乏しい状況であります。そのような中で、「三重の未来を切り拓く中小企業・小規模企業への分厚い支援」として、関連事費の総額47.9億円のパッケージ予算案を取りまとめていただき、感謝申し上げます。

しかしながら、自然災害が頻発する中、県内中小企業・小規模企業の事業継続計画（BCP）の策定割合は1割以下で、他県に比べて低い割合となっています。

令和2年度当初予算案では、新規事業として中小企業防災・減災対策推進事業で665.3万円を計上されていますが、施策321の副指標である「県内中小企業・小規模企業におけるBCP等の策定件数」の令和2年度の目標値が360件なのに対し、事業予算額が少ないと考えます。

そこでお聞きします。中小企業・小規模企業のBCP策定支援について、どのように取り組んでいくのかお答え願います。

A〔答弁〕

中小企業・小規模企業における防災・減災対策に向けた計画策定は、規模や業種の実情に応じて策定されることが望ましく、その推進にあたっては、専門家による計画策定のハンズオン支援や融資制度の創設に加えて、商工会・商工会議所の支援体制の強化や、三重県版経営向上計画制度など、様々な施策を活用していきます。

企業の災害時の備えにつながる取組の一例として、銀行による大規模地震対策融資があります。震度6強以上の地震が発生し、被災した場合に元本が免除になる融資制度です。

このような、金融、保険を組み合わせたBCP策定を推し進める事で、事業承継の円滑化にもつながると考えますので、そういった視点でも中小企業・小規模企業のBCP策定支援の取組を進めていただきたいと思います。

今議会で審査致します「みえ県民力ビジョン第3次行動計画(案)」と、その計画に基づき編成された令和2年度当初予算が「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」につながるよう、しっかりと議論していきたいと思っております。これで、私の議案質疑を終えさせていただきます。

県営松阪野球場の整備について

Q〔質問〕

今回の予算案で「スコアボード等改修費」と「等」がっておりますが、具体的にどのような整備を行うのか伺いたい事が1点。県有施設の見直し一覧において、「最低限必要な維持修繕費は県で実施」とありますが、どのような維持修繕を実施していくのかについても教えていただきたいと思います。宜しくお願ひ致します。

A〔答弁〕

2つの施設整備費を計上しており、1つ目はスコアボードの改修、2つ目はフェンスラバーの張替えです。また、この球場は、昭和50年に建設され、築40年以上が

経過していることから、スタンドの雨漏りや外壁・内装の劣化に加え、今後、選手や観客の安全面での課題が発生する懸念もあります。このような経年劣化への対応や利用者の安全・安心に関わるような維持補修につきましては、今後も計画的に実施していきたいと考えています。

Q〔質問〕

スコアボード以外では、内外野ラバーフェンスの全面張替も行われ、健康面や安全面で問題となる部分については対応いただけるという事で理解致しました。

また、必要最低限の維持修繕についても、早期に対応願います。これらの改修工事は、工程的に工期がかかると思われませんが、高校野球の県大会等、各種大会の開催への影響に関してお聞かせ願います。

A〔答弁〕

工期については、高校野球など毎年大きな大会が春から秋にかけて集中して開催されることから、こうした期間は避け11月中旬以降のオフシーズンに設定したいと思っています。また、工事期間中に大会の予定がある競技等については、指定管理者を通じて、できるだけ早い時期に利用者との調整を行うなどして、その影響ができるだけ小さいものとなるよう努めます。

Q〔質問〕

今回の予算案や県有施設の見直しの考え方からすると、ナイター設備の導入は考えていないわけですが、ナイター設備のない都道府県営野球場はどれくらいあるのか、お聞かせ願います。

A〔答弁〕

令和元年7月に行った全国調査の結果では、都道府県営49球場のうち、三重県を含めて9つの府県の球場にナイター照明設備が設置されていない状況となっております。

今後、県有スポーツ施設の整備方針を見直す際には、是非設置を検討していただく事と、将来、三重県営松阪野球場・中部台公園が、熊野市のように防災公園球場となります事を願ひ、次の質疑に移らせていただきます。



報告 鹿化川・天白川の整備が実現しました

鹿化川は三重県が管理する二級河川であるが、昭和49年の集中豪雨で氾濫した後、一部では改修工事がなされてきたが、過去10年間に「はん濫危険水位」を超えること11回、「避難判断水位」を超えること10回と、災害の危険が増している状態であり、天白川についても同様です。この状況について、四日市自主防災組織からも早期の改修の要望も多く、非常に懸念しておりました。また、自身も昭和49年に床上浸水を経験しており、防災士として大きな課題でした。

いよいよ今年から暫定的に、川底を1メートル程度掘り下げ、鉄道との交差部分でも鉄橋に影響しない範囲で川幅を確保する治水工事を実施していく予定になりましたので、皆様には河川整備についての概要版をご報告いたします。

二級河川鹿化川・天白川の河川整備について(概要版)

【治水対策の効果】

治水対策実施により河川の流下能力が改善し、治水安全性が向上します。

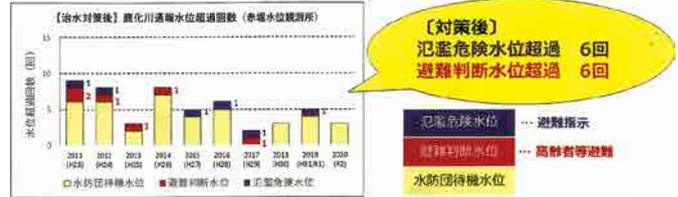
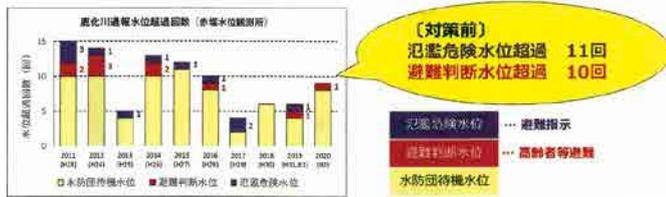
計画規模：1/5 以下 → 1/30 相当
 河川流下能力：100(m³/s) → 概ね160(m³/s)

(参考) 抜本対策(1/50) 諸元

・計画規模：1/50
 ・河川流下能力：170(m³/s)

●通報水位超過頻度軽減

治水対策後の河道において過去10年間の出水を当てはめた場合、水位上昇による通報水位超過の頻度が軽減され、避難指示や高齢者等避難の発令頻度も減少することが見込めます。



【堤防強化】

堤防強化とは、想定を超えた大雨によって川の水が堤防を乗り越えて堤防が決壊しやすい状態になります。そこで堤防をブロック等により「粘り強い堤防」として強化するものです。



●堤防強化イメージ



国土交通省HP(<https://www.mlit.go.jp/river/kawanavi/index.html>)より引用

堤防の表法、天端、裏法をコンクリートブロック等によって覆い、堤防を強化します。

【今後の予定】

〈鹿化川〉

- ・治水対策の工事実施に向けた地形測量と設計を実施します。(曙橋～横長井堰間)
- ・堤防強化の実施に向けた検討のための測量・設計を実施します。(曙橋～横長井堰間)
- ・河道内の立木伐採工事を実施します(近鉄橋～横長井堰間)
- ・鉄道橋の治水対策に伴う影響評価の検討を予定しています。(近鉄・JR)
- ・治水対策工事の実施を予定しています。(曙橋～JR橋間)

〈天白川(大井の川)〉

- ・鹿化川治水対策として堆積土砂撤去実施に向けた測量を実施します。(千歳運河～国道23号)

〈天白川〉

- ・堤防強化の実施に向けた検討のための測量・設計を実施します(国道1号下流～天白橋間)



赤: R3年度実施予定
 青: R4年度実施予定

2021

県内調査《防災取り組み》

タイムライン等の取り組み(紀宝町役場)

紀宝町タイムラインの取り組みを中心に調査を行いました。

防災教育の取り組み

(三重県立南伊勢高等学校南勢校舎)

南伊勢高等学校南勢校舎を訪問し、その防災教育の取り組みを調査しました。



2020

県内調査《新型コロナウイルス検査体制》

三重県保険環境 研究所(四日市市)

新型コロナウイルスの検査体制の状況などについて調査しました。



2020

県外調査《岡山・広島視察》

岡山県議会(岡山県岡山市)

就労継続支援B型事業所と連携した取組状況等について調査しました。

広島県議会(広島県広島市)

妊娠～子育てのサポート体制の実施状況や、保育環境充実に向けた取組について調査しました。



2020

県内調査《産業廃棄物処理場》

伊賀市にある産業廃棄物処理場、大栄環境グループ「三重中央開発株式会社」を訪問した。

最新鋭の廃棄物処理装置など、現地調査を実施した。



2020

『みえ現場de県議会』を開催

令和元年11月7日、尾鷲市早田コミュニティセンターにおいて、『みえ現場de県議会 第1回水産業の振興』に出席しました。



2020

『みえ県議会議出前講座』を開催

令和2年1月30日、桑名市立七和小学校体育館において、『みえ県議会議出前講座』を開催しました。



2020

県内調査《防災取り組み》

令和元年8月8日～9日、三重県消防学校・三重県広域防災拠点にて災害への備えに向けた視察を行いました。また、川上ダムにて崩壊対策事業についての施行視察を行いました。



2020

防災科学技術研究所(茨城県)県外防災視察研修

令和元年8月27日、防災科学技術研究所にてリアルタイムハザード情報について講習を受けました。



生きる、を支える科学技術
NIED 防災科研

三重県議会での経歴

2019年

三重県議会議員1期

- 常任委員会：防災県土整備企業常任委員会 委員長 予算決算常任委員会 委員
- 四日市港管理組合議会議員
- 広聴広報会議 委員

2020年

- 常任委員会：医療保健子ども福祉病院常任委員会 委員 予算決算常任委員会 委員
- 特別委員会：差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 副委員長
- 四日市港管理組合議会議員
- 広聴広報会議 委員

2021年

- 常任委員会：防災県土整備企業常任委員会 委員長 予算決算常任委員会 委員
- 特別委員会：差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 副委員長
- 広聴広報会議 委員
- 委員長会議 常任委員長

発行/山崎ひろし事務所 TEL.059-333-3206 FAX.059-333-3206 mail h-yamazaki@yamafen.jp

お気軽にメール・FAXお待ちしております!

お知らせ

山崎博! 県政報告会は、ホームページ・案内チラシにて連絡報告させていただきます。

山崎ひろし 公式ホームページ
<https://yamazakihiroshi.jp>

